



大型解体機SK1300DLC
最新鋭産廃焼却プラント

○本社所在地：山形県寒河江市大字柴橋
2479番地の2

○事業概要：解体・土工・とび工事業、
産業廃棄物処理業、不動産賃貸事業

○常時使用する従業員：158名
(グループ全体：2026年2月時点)

○現在の売上高：47億円
(グループ全体：2026年2月期)

○法人番号：8390001012709

○Web：<https://inoue-i.com>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役会長
井上 尚

『弛まぬ挑戦で、未来を創る』

私たちティ・エムホールディングスグループは、創業以来70年以上にわたり、解体・リサイクル・環境インフラのプロフェッショナルとして地域とともに歩んできました。
私たちは、解体を「壊す仕事」ではなく、「未来の建設を支える循環型産業」と捉えています。
今、東北の建設・解体市場は大きな転換期を迎えています。老朽インフラ更新、公共施設再編、民間再開発、そして環境負荷低減の流れ。この変化を「追う側」ではなく「創る側」へ。
その決意として、私たちティ・エムホールディングスグループは、年商100億円企業への成長をここに宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・ 2035年にグループ全体で売上高100億円実現に向けて、年率10%程度の成長率を目指します。
- ・ グループには、井上工業の「解体・土工・建築・とび」、ディスポテックの「産業廃棄物処理機能」、東北クリーン開発およびクリーンパワー山形の「中間処理機能」があり、各社の強みを掛け合わせ、循環型産業モデルを自社で完結できる総合力を発揮し、日本から必要とされる企業グループに成長します。

課題

- ・ 中核企業である井上工業の「解体事業」を中核に、大型解体案件、再開発関連案件、建設関連案件などの対応力を高め、単独の下請け型受注に依存するのではなく、上流段階から案件に関与できる体制を整備していく必要があります。
- ・ そのために「人財」という仲間を増やしていきます。採用では、新卒採用と中途採用の双方の採用活動を強化し、高度人材を積極的に採用・育成していく必要があります。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 中核企業である井上工業を牽引エンジンとし大型案件対応を強化します。ディスポテックは、解体と処理関連機能を強化し、東北クリーン開発およびクリーンパワー山形は、設備投資と行政連携を図り、処理能力拡張と地域インフラ機能を強化します。
- ・ グループ企業の連携により、営業エリアを拡大し、開発、建築、解体、処理、発電、リサイクルまでのバリューチェーン全体を受注できるように取り組んでいきます。また、グループ機能の強化を目的に同業他社のM&Aや取引先との連携拡大も検討していきます。

実施体制

- ・ 売上高100億円の実現に向けて、グループ各社の役割・売上目標・投資主体・責任範囲を明確にすることで、管理体制とガバナンス（意思決定ルール）を強化します。
- ・ 高度人材の積極採用と育成に取り組み、施工管理、営業、原価管理の体制を強化すると共に、大型案件対応や営業エリア拡大、上流段階からの案件関与を担える中核人材を創出します。
- ・ 人事管理部門を設立し、ホールディングスを基盤としながら各社の独自性も担保した制度を構築するとともに、人財育成、福利厚生制度を整備します。

売上高100億円実現の目標と課題

1. 解体工事業の建設分野における業務伸長

- ・井上工業(株)を検索エンジンとして解体工事業、土木、建築、とび土工を核に、大型解体案件、再開発案件、建設関連案件への対応力を強化する。
- ・ディスポテック(株)との連携による山形県内認知拡大から東北、関東への進出による営業エリアの拡大、解体工事から産業廃棄物処理の一貫対応を強化する。

2. 産業廃棄物処理業におけるサステナビリティ強化

- ・東北クリーン開発(株)、(株)クリーンパワー山形の産業廃棄物処理・発電・リサイクル機能を連携させ、受注機会の拡大、処理能力の活用、付加価値の向上を図る。
- ・一般廃棄物受入れと焼却炉増設を含めた処理能力拡張、官公庁連携による地域インフラ機能強化、発電リサイクルにおけるサステナビリティを強化する。

3. ホールディングス管理体制強化

- ・グループ企業のガバナンス、各社の役割、売上目標、投資計画を明確化する。高度人材の積極採用、施工管理、安全管理、施設運営等のできる人材育成する。

